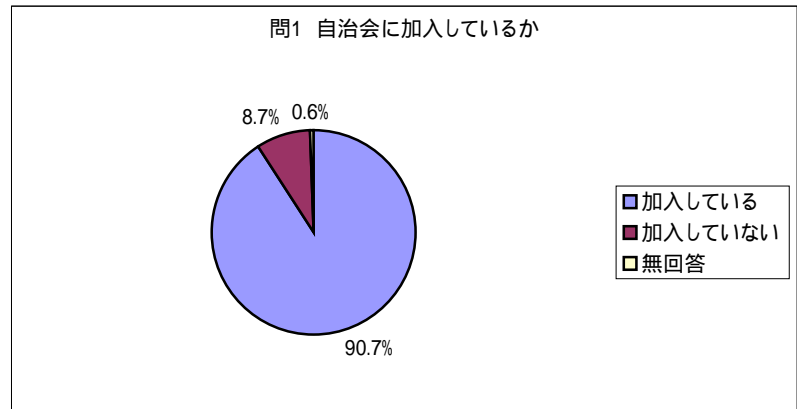


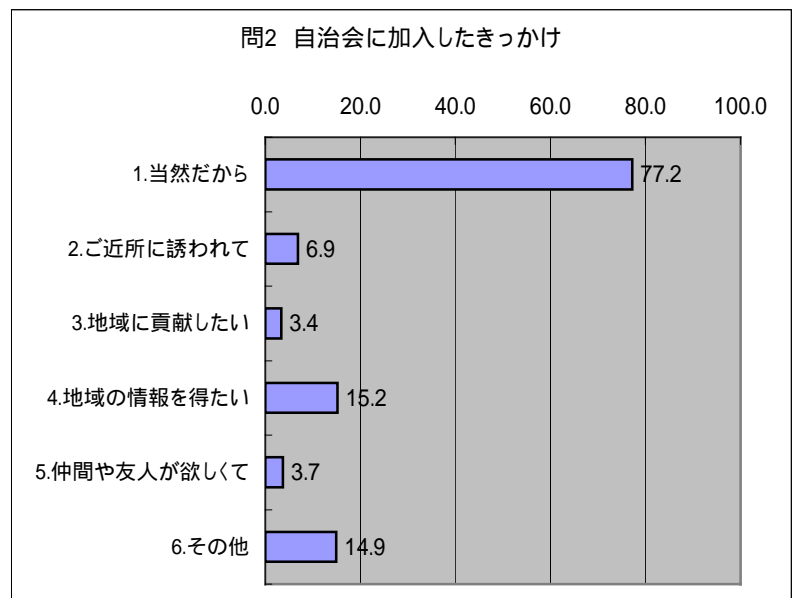
## (2) 調査結果の概要

### 保護者アンケート

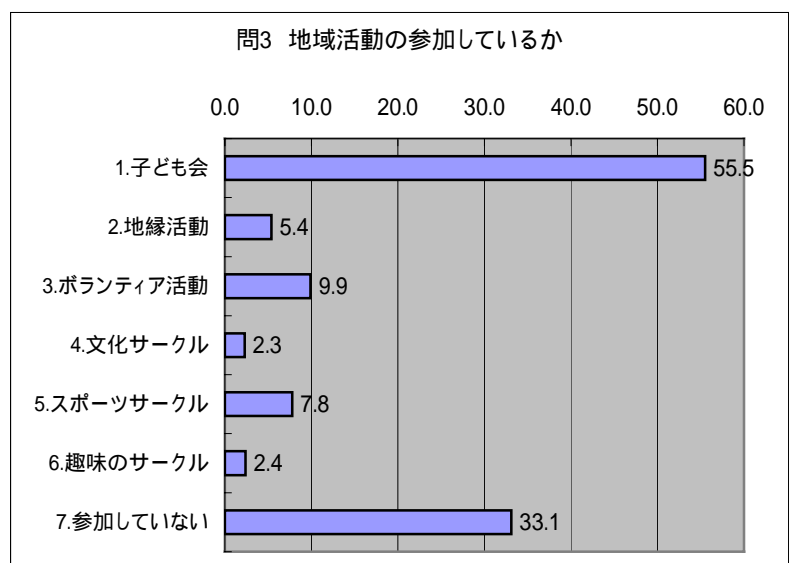
**問1** 「あなたは、自治会（町内会）に加入していますか」に対して、9割の家庭が自治会（町内会）に参加していると答えています。



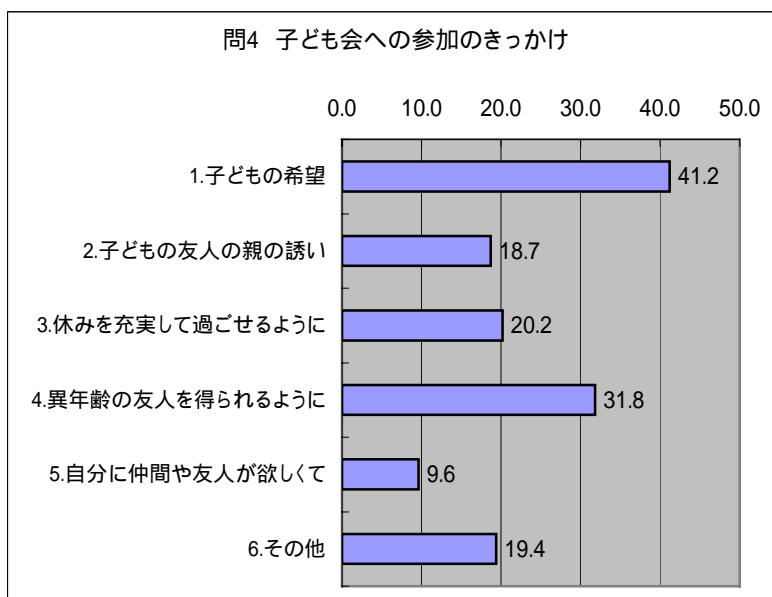
**問2** 自治会（町内会）に加入している方に「自治会（町内会）への加入のきっかけは何ですか」と尋ねたところ、77%の方が「当然だから」と答えました。その他、「地域の情報を得たい」と答えた方も15%いました。その他として自由記述欄に記入されていた回答で多かったものは、「住んでいる集合住宅では加入が義務付けられているから」「子ども会に入会するためには町内会に加入している必要があったから」というものです。



**問3** 「あなたは、次の地域活動に参加していますか」の質問に対しては、「子ども会」が56%、ついで「参加していない」が33%でした。その他、「ボランティア活動」が10%、「スポーツサークル」が8%、女性会や消防団などの「地縁活動」が5%と続きました。

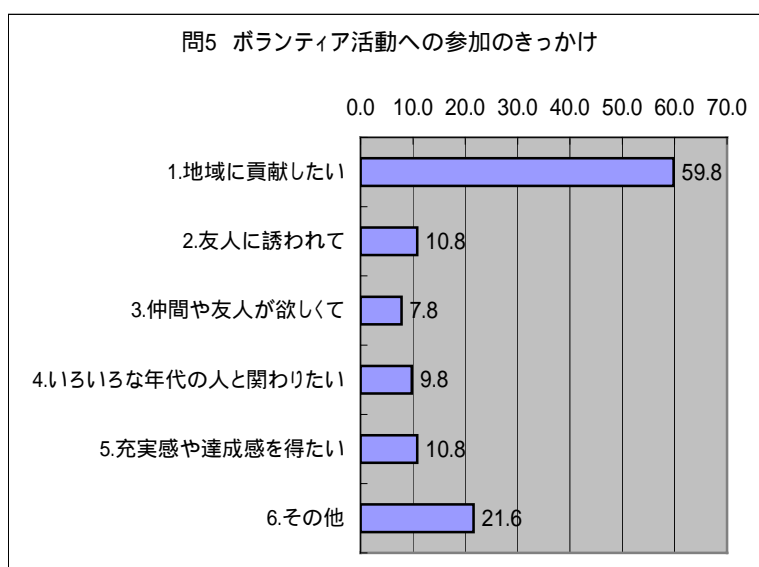


**問4** 子ども会に参加している方に「参加のきっかけ」について尋ねたところ、「子どもが希望したから」が最も多く41%、続いて「子どもが異年齢の友人を得られるように」が32%、「子どもが休みを充実して過ごせるように」「子どもの友人の親の誘われて」を選択した人も2割ほどいました。その他として自由記述欄に記入されていた回答で多かったものは、「転校してきたので、



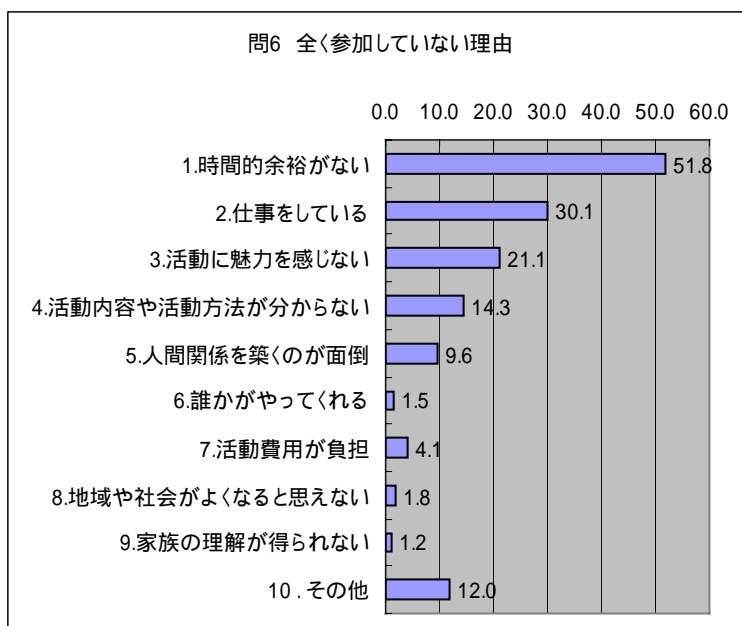
子どもが早く地域に慣れるように」「全員が加入することが義務付けられている地域だから」「子どもを地域行事に参加させたくて」「子ども会を通して地域のことを知りたいと思ったから」などが記入されていました。

**問5** ボランティア活動を行っている方に「参加のきっかけ」を尋ねたところ、「地域に貢献したい」と答えた方が6割、その他「友人に誘われて」「生活に充実感や達成感を得たいと思って」「いろいろな年代の人と関わりたくて」と答えた方も1割程度いました。その他として自由記述欄に記入されていた回答で多かったものは、「住みやすい街づくりに貢献したい」「当番制でしかたなく」というものでした。

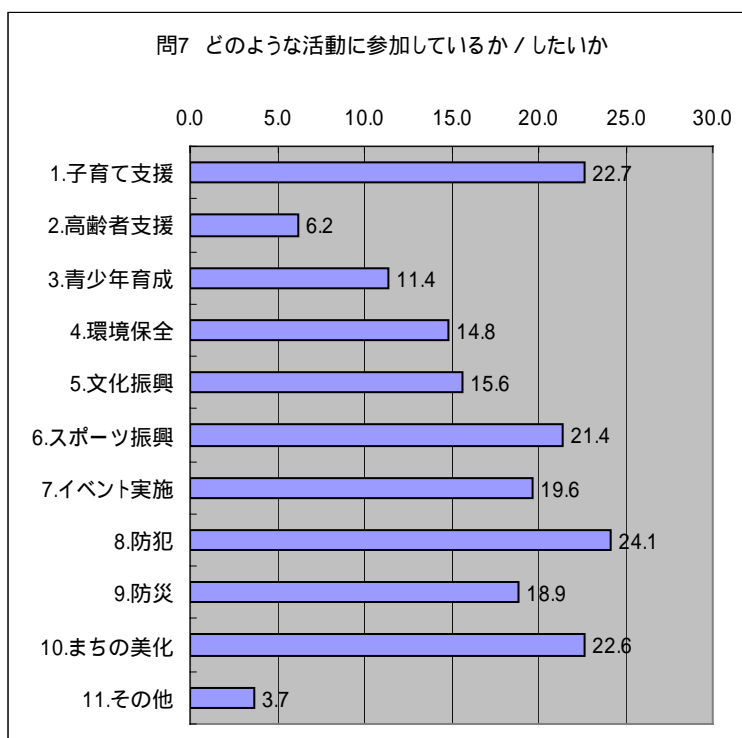


**問6** 地域活動に全く参加していない方へ「参加していない理由」を尋ねたところ、半数が「参加する時間的余裕がない」と答えました。ついで3割の方「仕事をしているので活動日に参加できない」、2割の方が「活動に魅力を感じない」と答えています。「活動内容や参加方法がわからない」と答えた方も14%いました。専業主婦の方は、子どもが学校にいている時間に活動するのが都合よい一方で、フルタイムで仕事をしている方は、土日しか活動時間がとれません。誰もが参加できる時間を設定するのは難しいため、平日と土日にバランスよく活動日を配置する等の工夫が必要かもしれません。

その他として自由記述欄に記入されていた回答で多かったものは、「引越してきたばかりで状況がよく分からない」「乳児や病人がいるので参加できない」「土日は家族の予定があるため参加できない」「負担を増やしたくない」というものでした。「活動内容や参加方法がわからない」と答えた方が14%おり、「引越してきたばかりで状況がよく分からない」と記入した人も多かったことから、「ここにいけば地域活動の情報を得られる」という場を確保し、周知していくことが必要だと思われます。

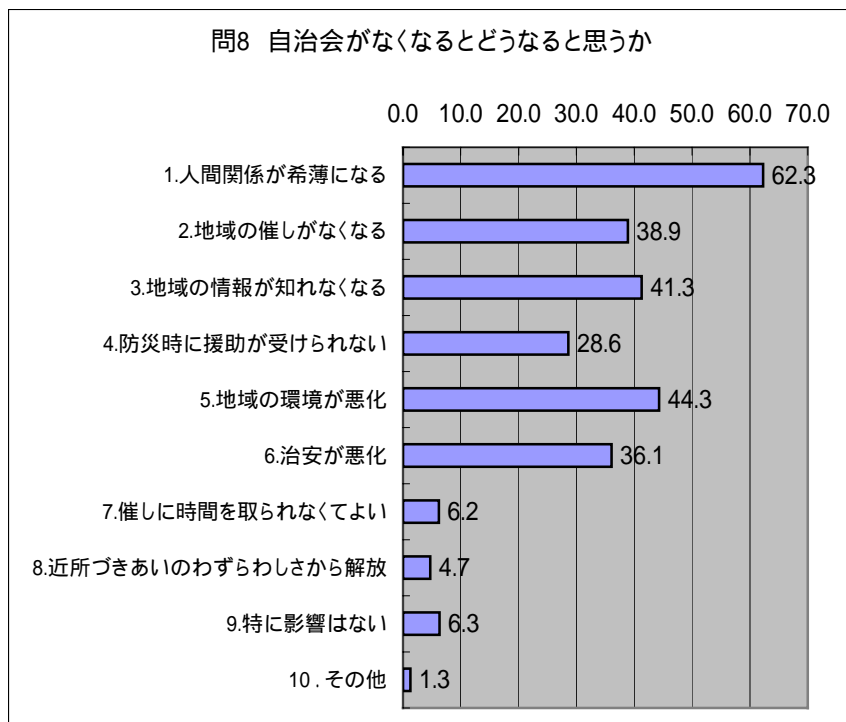


問7 「現在、地域活動に参加されている方は、どのような活動に参加されていますか。また、地域活動に参加されていない方は、今後どのような活動であれば参加したいと思いますか」については、「防犯」「子育て支援」「まちの美化」「スポーツ振興」のニーズが高く、それぞれ20%以上の方が選択をしていました。ついで「イベント実施」「防災」「文化振興」となりました。その他を選択された方は「清掃活動」「廃品回収」「地域の広報誌作り」「地域のお祭り」等を記載してくださいました。

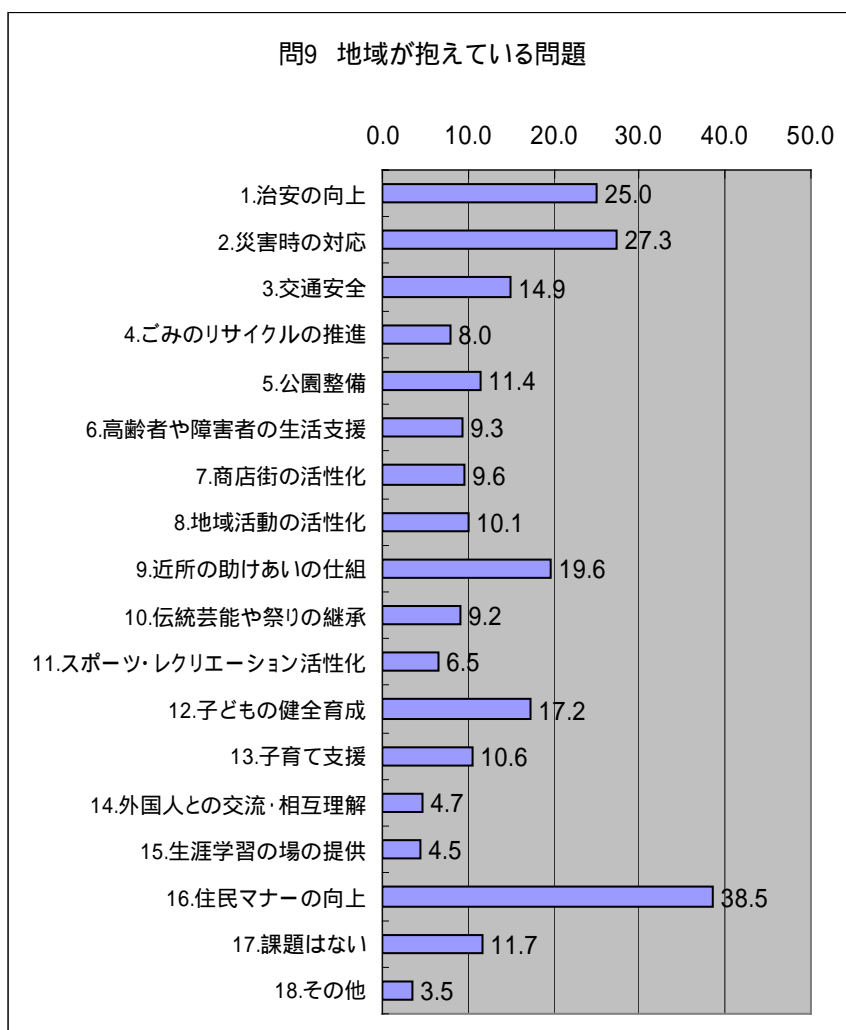


問8 「自治会(町内会)がなくなると、どのようになるとお考えですか」という質問に対しては、「地域の間関係が希薄になる」を選んだ方が6割、ついで「ごみやペットの糞などが放置され、地域の環境が悪化する」「地域の情報を知ることができなくなる」「地域の催しがなくなる」「治安が悪化する」が4割前後となりました。この質問からは、住民のみなさんが自治会はこうしたことを防止するのに貢献していると考えていることが読み取れま

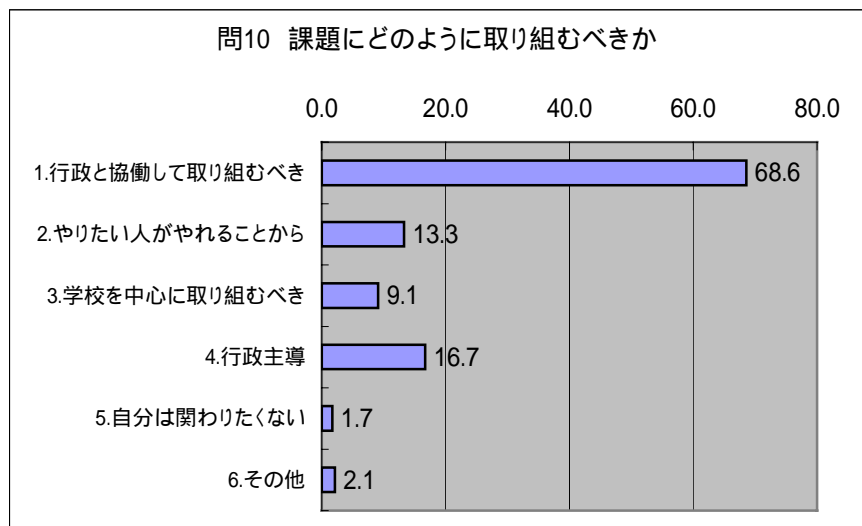
す。「その他」には「一人暮らしもしくは高齢者だけの世帯を認識できず災害時に声をかけなくなるのでは」と記入した方もいました。



問9 「現在、お住まいの地域が抱えている課題は何だと思えますか」の質問に対しては、「ごみ出しやペットの糞のルール徹底など、住民マナーの向上」と答えた方が最も多く、38.5%、ついで「災害時の対応」「治安の向上」が多く25%前後で、それに「近所の助けあいの仕組み」「子どもの健全育成」「交通安全」と続きました。その他として自由記述欄に記入されていた回答で多かったものは、「路上駐車（駐車違反）の取り締まり」「暗い場所への街灯の設置」「自治会の中心となる人材の不足」「街の美化（ゴミ箱を設置する・電線を地中に埋めるなど）」です。

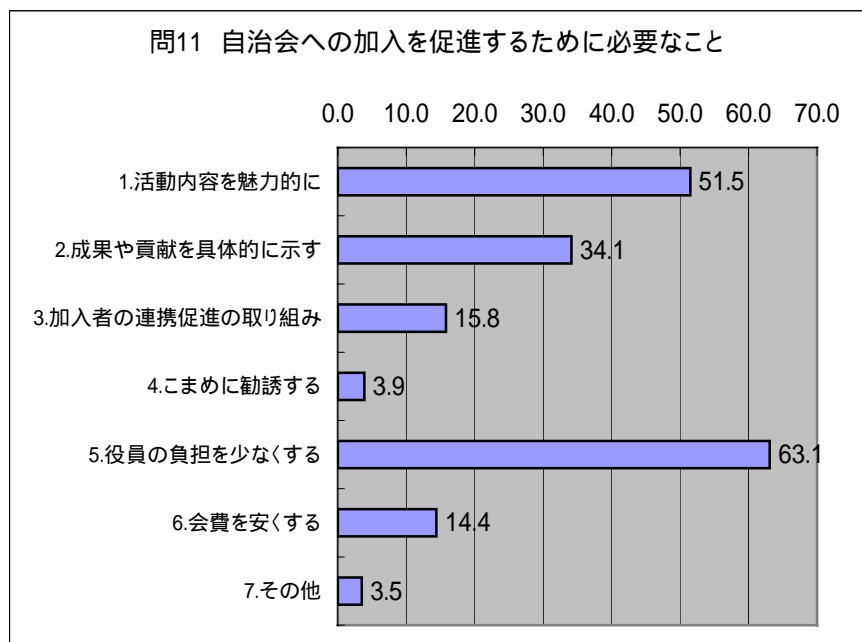


問10 「こうした課題に、どのように取り組むべきだと思いますか」と尋ねたところ、「地域で取り組めることは、地域独自もしくは行政と協働して取り組むべき」を選択した方が最も多く7割弱となりました。それに続き「行政主導で取り組むべき」



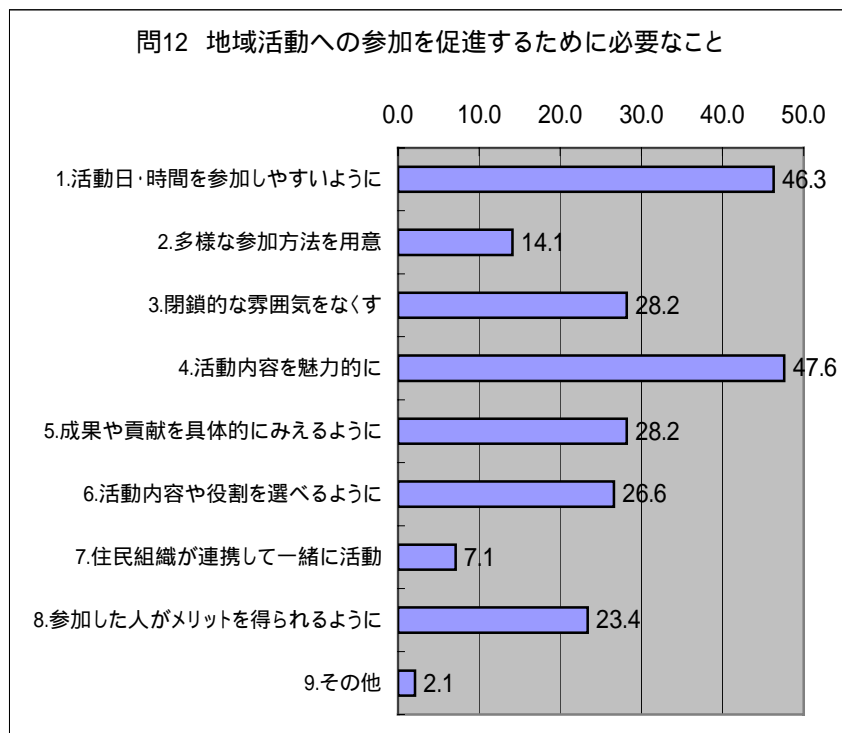
「やりたい人が、やれることから取り組むべき」が15%前後という結果となりました。「その他」として自由記述欄には「住民の意識を変えていかなければならない」「地域・学校・家庭の連携をもっと図るべき」「無理のない範囲でみんなが参加できるしくみ作り」等の意見もありました。

問11 「自治会(町内会)への加入を促進するためには、どのようなことが必要になると思いますか」の質問に対しては、「役員の負担を少なくする」の選んだ方が63%、「活動内容を魅力あるものにする」を選んだ方が52%あり、それに続き「成果や貢献が具体的にみえるようにPRする」も34%でした。「その他」として



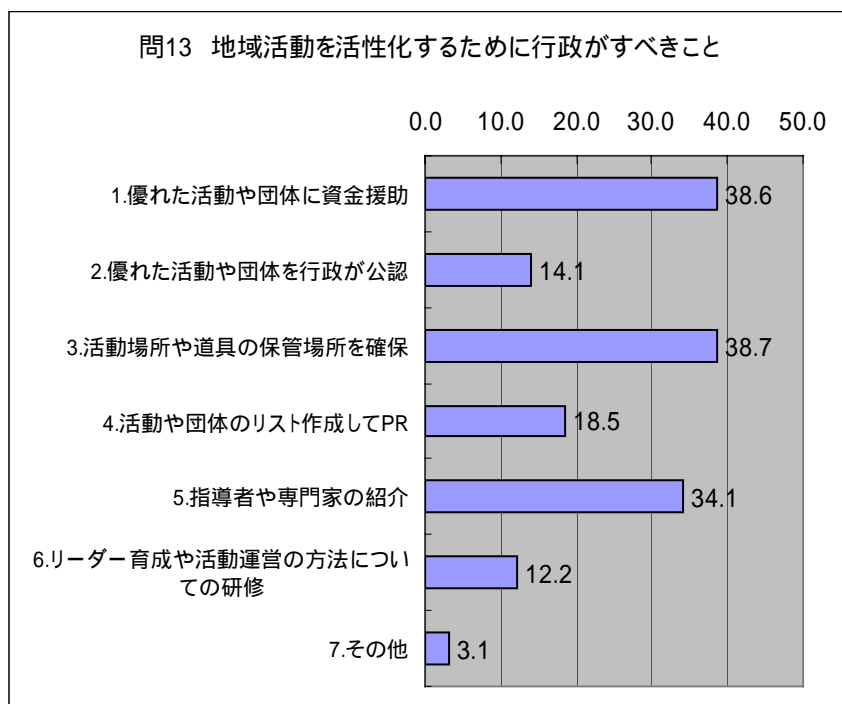
自由記述欄に記入された方もたくさんおり、「会費を適正な額に減額し、用途を明確にする」「過負担となる行事は削減し、活動の内容の精選をする」「自治会加入のメリットを実感できるような内容にする」「自治会に入っていないことで生じるディメリット(災害時に配給が受けられないなど)を示す」などがありました。「自治会に入っていない人のマナーが悪いので、参加を義務付けるべき」と主張する方がいる一方、「自治会がなくても特に問題はないので、自治会加入を促進しなくてもいい」とい主張される方もいました。

問 12 「地域活動への参加を進めるためには、どのようなことが必要になると思いますか」の質問に対しては、「活動内容を魅力あるものにする」「活動の曜日や時間を参加しやすいように設定する」を選んだ方が半数近くにのびりました。それ続き「加入するとやめられないなど、閉鎖的な雰囲気をなくす」「成果や貢献が具体的にみえる活動をする」「活動



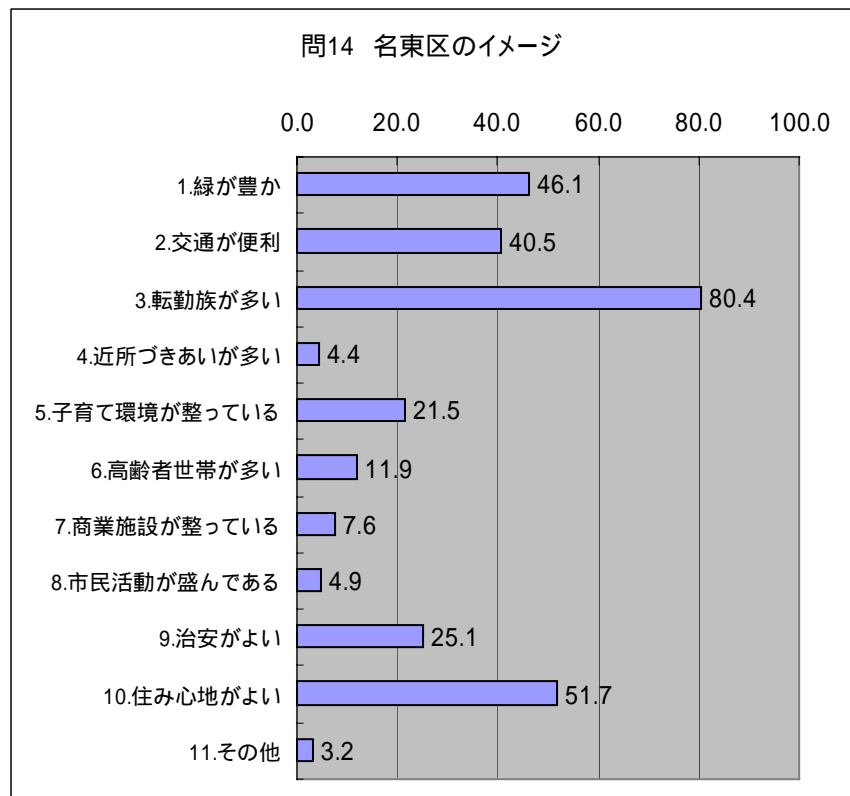
内容や役割を選べるようにする」「参加した人が、何らかのメリットを得られるようにする」が 25%前後という結果になりました。自由記述欄には「参加した人が楽しいと思える活動にする。負担感より、充実感が大きければ参加者が増えるはず」「転入してきた人も気軽に参加できるような雰囲気にする」等が記入されていました。

問 13 「地域活動を活性化するために、行政がすべきことは何だと思いませんか」の質問に対しては、「活動場所や道具の保管などの場所を確保できるように支援する」「優れた活動や団体に資金援助をする」がともに 39%、それに続き「活動をサポートしてくれる指導者や専門家を紹介する」が 34%と、これらのニーズが高いことが分かりました。自由記述欄には「長時間労働を見直す」という日本社会の働き方の見直しという根本的な意見の記入も



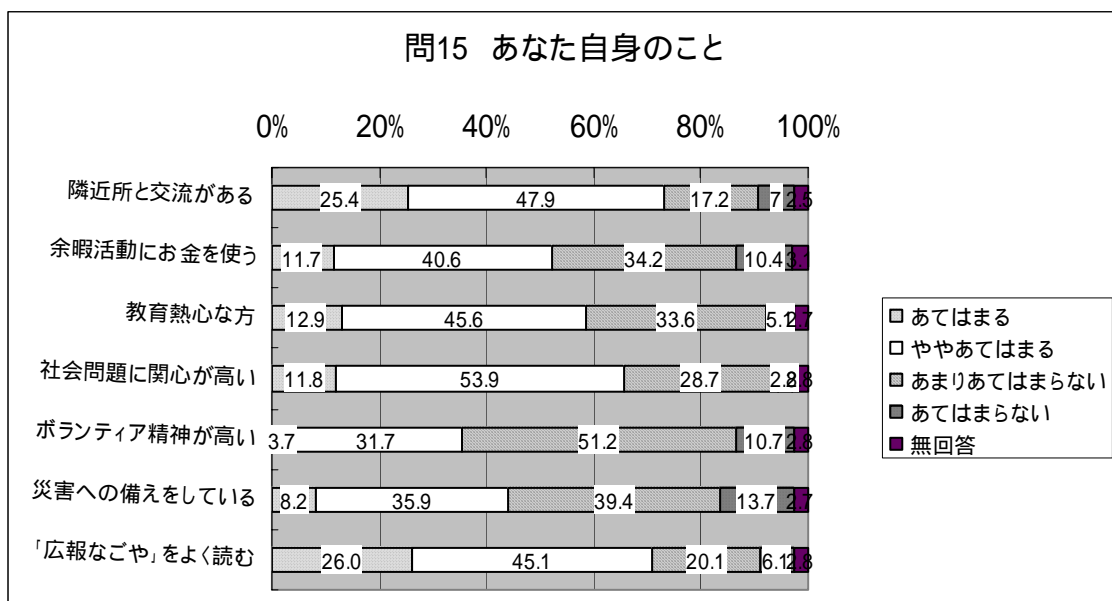
ありました。

問 14 「あなたの名東区  
 に対するイメージは、どの  
 ようなものですか」という  
 質問に対しては、「通勤族  
 が多い」を全体の8割の方  
 が選択し、ついで「住み心  
 地がよい」「緑が豊か」「交  
 通が便利」を選ぶ方が4割  
 強と続きました。「治安が  
 よい」「子育て環境が整っ  
 ている」と答えた方も25%  
 前後いました。一方、「近  
 所づきあいが多い」「市民  
 活動が盛んである」を選ぶ  
 人は5%前後と少なく、転出  
 入の多い土地柄から、人間



関係の取り結びや地域活動がやや低調であるというイメージを持たれている方が多いよう  
 です。自由記述欄には、「教育熱心」「格差が大きい」のほか、高速道路が縦横に走ってい  
 るからか「空気が悪い」と記入される方もいました。

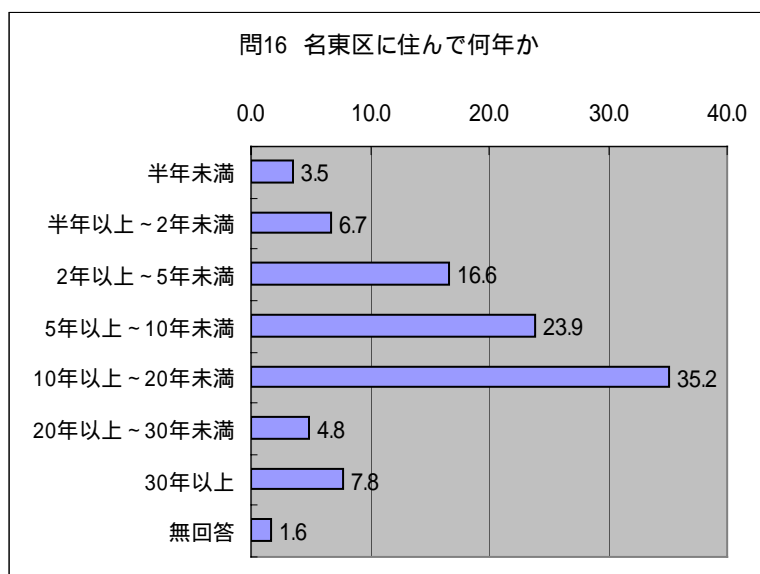
問 15 「あなた自身のこと」をお伺いするこの質問では、「隣近所と交流がある」に「あて  
 はまる」と答えたのは25.4%、「ややあてはまる」と答えたのは47.9%で、7割の方がある程  
 度は交流があると答えています。「広報なごやをよく読む」に「あてはまる」と答えたのは  
 26.0%、「ややあてはまる」と答えたのは45.1%で、7割の方が市政や区政に関心をもち、





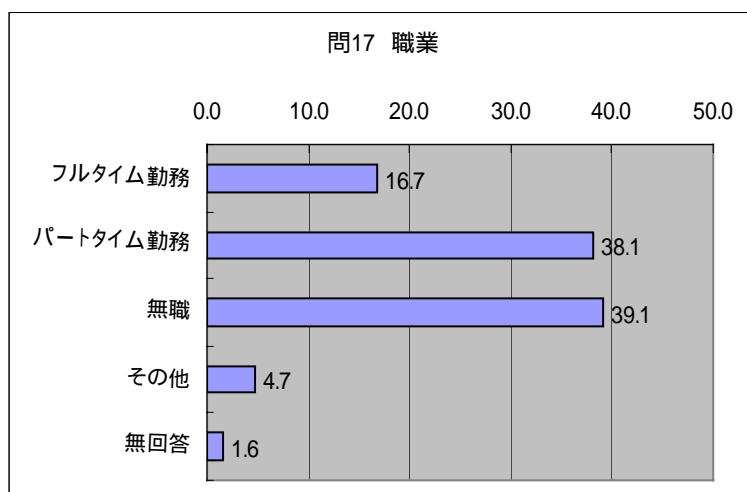
「広報なごや」を通して地域の情報を得ていることがわかります。「社会問題に関心が高い」「教育熱心な方である」についても、「あてはまる」が「あてはまる」と答えた方が1割、「ややあてはまる」とこたえた方も5割程度おり、半分を超える方が「社会問題に関心が高い」「教育熱心な方である」とご自身をとらえていらっしゃるようです。一方、「ボランティア精神が高い」「地震や災害への備えをしている」については、「あてはまる」「ややあてはまる」と肯定的な回答をする方が4割程度にとどまっています。

**問16** 「あなたが、名東区にお住まいになって、どのくらいの期間になりますか」については、「10年以上20年未満」が最多で、35.2%となっており、回答者の年齢層から考えると、結婚後に名東区に引っ越してきて、名東区で子育てをされている方が多いことが推測できます。また20年以上にわたり名東区在住である方、すなわち子どももしくは学生の時代からずっと名東区に住



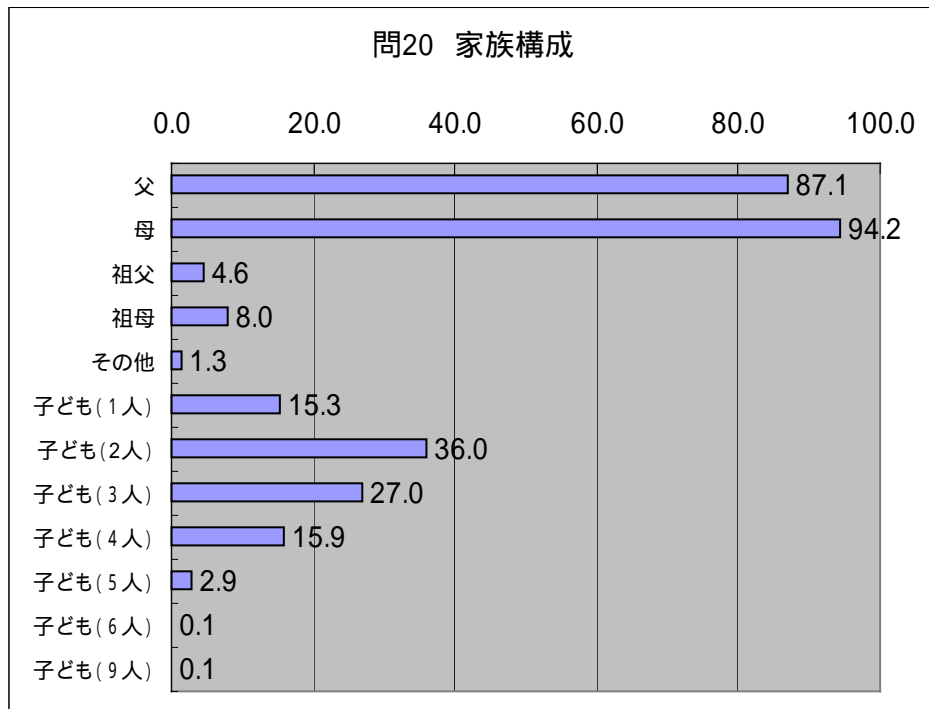
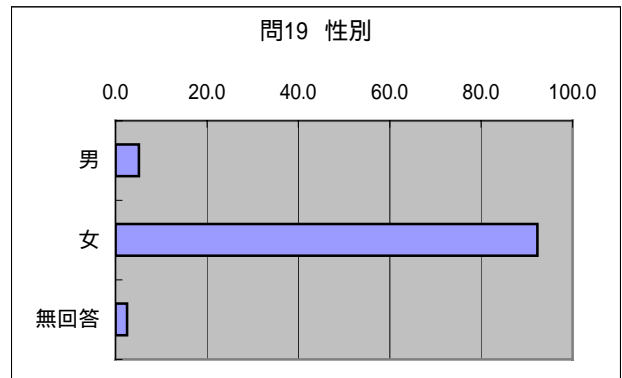
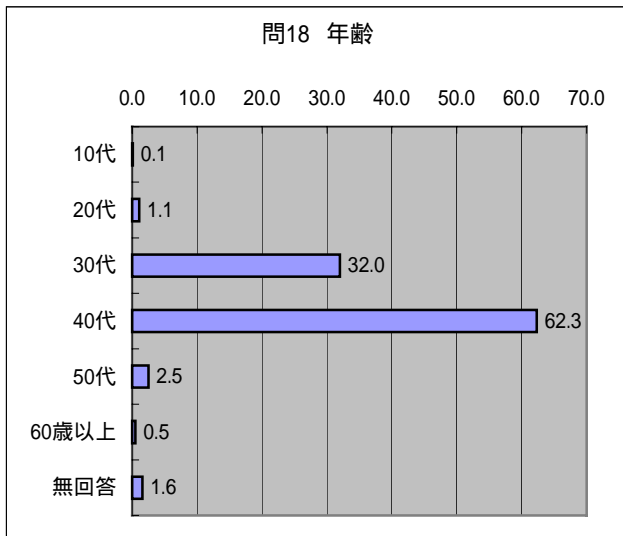
んでいる方も12.6%います。一方、「転勤族の方が多い」という名東区の評判を裏付けるように、10年未満の方は全体の6割近くに上り、2年未満であるという方も1割います。

**問17** 「あなたの職業は、どのような形態ですか」については、回答者の8割が女性（母親）であることを反映してか、「無職」と「パートタイム」がともに4割弱と最多でした。そのほかには「自営業」「自営業手伝い」と答えた方も複数いました。

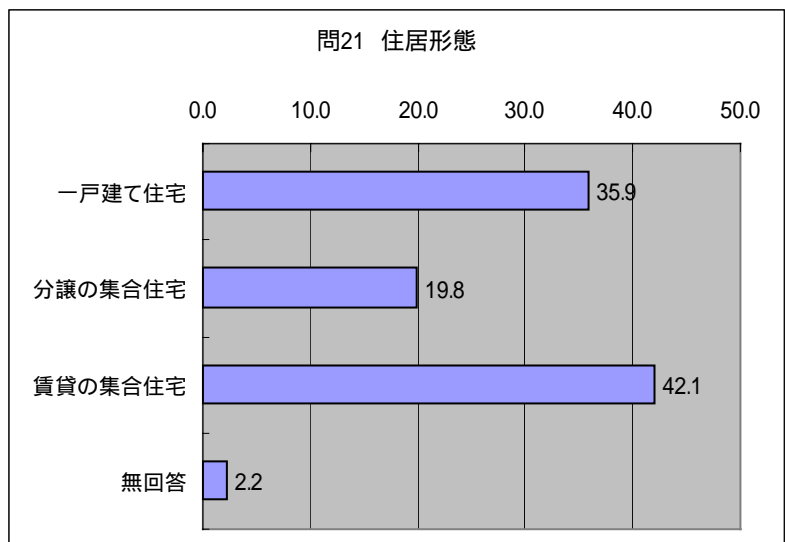


**問18** 「あなたの年齢は、どれですか」については、小学校5・6年生の子どもをもつ家庭に調査協力をお願いしたことを反映して、40代が6割、30代が3割という結果になりました。





問21 「あなたの住宅は、どのような形態ですか」については、「賃貸の集合住宅（アパート・マンション等）」と答えた方が42.1%で最多で、それに続き、「一戸建て住宅」が35.9%、「分譲の集合住宅（アパート・マンション等）」が19.8%でした。



問22 「その他、名東区の区政に望むことがありましたら、自由にお書きください。」については、区民のみなさんの願いがたくさん書き込まれていました。

もっとも多かったのは「治安と安全」に関するものです。「子どもの安全を確保するためにパトロールの体制を確立してほしい」「夜道が危険なので街灯を増やしてほしい」「子どもの交通事故を未然に防ぐため、ガードレールや信号や歩道の整備を進めてほしい」という意見が多数寄せられました。また交通マナーの悪さを痛感されている方も多く、「路上駐車を取り締まりを強化してほしい」「放置自転車の撤去を進めてほしい」「車や歩行者の交通マナーの向上を促進してほしい」という意見も多数寄せられました。

次に「交通の整備」が指摘されています。名東区は南北に長い地形になっており、東山線を境にした北側と南側で地域が分かれていて、バス経路図をみても南北に行き来するのが困難となっています。そのため一部の地域の方は、公共施設に行くのに車を使わざるをえない状況があるようです。また公共交通機関がバスだけの地域では、バスの本数の少なさに不便を感じている方も多いようです。

次に「環境整備」が指摘されています。「公共の場所の草木の管理（雑草や枯葉の除去）」「ペットの糞マナーの向上を促進する」「ゴミマナーの向上を促進する（ゴミだしのルールの徹底／ゴミのポイ捨て禁止等）」のほか、花や緑豊かな環境を望む声も聞かれました。

子ども達のがびのびと遊べる場の整備を望む声も多く、安全な遊具があり、死角になるような危ない空間のない安全な場所、野球やサッカーができる広い空間、花や緑が豊かで清潔なトイレのある公園、指導員がいて子ども達に遊びの指導や安全を提供してくれる公園の設置などが求められていました。

次に公共サービスに関連する要望です。「学校」に関しては、学区の線引きの見直しや、学区を越えて自由に学校を選択できる学校選択制の導入を希望する声、学校の校舎や設備の改善、学校間格差（規模や学力）をなくす施策を希望する声が聞かれました。また「学童保育」については、安心して仕事ができる学童保育の整備を望む声があり、保育者側の質の向上や、子ども達が落ち着いて放課後生活を送ることのできる環境整備が求められています。「図書館」についても要望が多く、蔵書を増やして欲しい、建物の老朽化が激しいので立て替えて欲しい、駐車場を増やして遠方から来る区民への便宜を考えて欲しい等の意見が書き込まれていました。名東区は南北に長い地形となっているため、図書館が遠くで利用しづらい地域の方もおり、近くに図書館を望む声もありました。

またコミにティセンターや児童館を充実させ、無料もしくは低価格でさまざまな習い事をする機会があれば、という意見も多数ありました。いろいろな年代の方と交流できる場、特に小学校高学年から中学生くらいの子どもの魅力を感じるような講座や、新しく名東区民になった人が趣味を同じくする友だちを作ることのできるような講座を設けるとよいのではないかな等の意見が出されました。

「区政」に関して、「区役所」については、対応がよいとする方と、対応が悪いとする方と評価が分かれています。区政が分かりにくいので情報公開の方法を工夫し、もっと住民

の意見を反映した区政を望む声もありました。自治会に入っていないと地域の情報が入手しにくい現状に対して、情報の発信に工夫をもとめる声もあります。また、年度末になると道路工事が増えたり、公園に必要性のあまり感じられない工事が施されたりすることに、税金の使い方をもっと吟味するようにとの希望もありました。

「自治会」については、最も多様で多くの意見が書き込まれていました。自治会の役員の負担が過重であること、特に区や市からのお手伝い要請で多忙になり、また講演会の形を保つためのサクラを依頼されるなど、本当に地域のための組織になっているのか疑問視する声もあります。また自治会に加入していない方に地域を大切にしない方が多いので(= 単身者や短期間で転勤していく方に多いと考えられているようです) 住民であるなら全員が加入し、地域住民としての務めを果たすようにする工夫が必要だとする意見もありました。そのためには、自治会に入ることのメリットを作り出し、それを広報すること、そして自治会に入らないことで受けるデメリット(災害時に援助物資が受け取れないなど)についても周知することが必要であると述べられていました。

「町の活性化」については、子ども達に参加できる「お祭り」を求める声が多数ありました。またお祭りをしたり区民が集まれるような多目的なホールがあるとよいとの回答もありました。また「商業施設の充実」について触れる方も多く、ある地域には大型ショッピングセンターが近くにないために生活に不便を感じる方もあるようです。

その他「医療」「福祉」「防災」と、安心して暮らせる体制作りをもとめる声もありました。